

教育後援会 会報 第39号

ほしめいの

発行日 平成28年6月10日

発行者：干布小学校教育後援会



教育後援会は、今年で39年目を迎えました。地域の皆様のご理解とご協力により、体験活動などの特色ある学校づくりを充実させることができました。今年度もご協力をよろしくお願いいたします。

就任のごあいさつ

教育後援会 会長 花輪 幸栄



野山に小鳥の鳴き声が響き渡り、新緑がいつそう色濃くなるこの頃、地域の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、わたしはこのたび、歴史と伝統の薫る干布小学校の教育後援会の会長に任命されました花輪幸栄です。

本会は、干布小学校地区民の有志で構成された会であり、児童の褒賞、教職員の研修、教材・教具の充実、特色ある学校づくりの支援、その他多岐にわたる事業がなされています。

地域の皆様方をはじめ、干布地区の各関係団体とのよりよい連携を図りながら、干布小学校の子どもたちの成長の糧となりますよう、微力ながら務めてまいり所存でございます。今後とも、皆様方のご指導・ご鞭撻・ご協力をお願い申し上げ、就任のごあいさつとさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

子どもは地域の未来

干布小学校 校長 柏倉 充



干布小学校に再び勤務することができ、大変感激しております。

地区やPTAの会議等で再会した20年前の小学生は、それぞれが立派な社会人でありました。ある人は、他人の苦労や痛みを深く考えていたり、またある人は、急病に罹り大事な仕事がキャンセルされてもこれからの自分を太らせる経験だと語ったり、多忙な中でも地区やPTAの役員を引き受けたり、病床にある家族を支えるには自分が元気に暮らす

ことが一番だと明るく頑張っていたりと。それぞれの魅力やもち味がにじむ言葉を聞き、深く感心しました。

「子どもは家庭の宝、地域の未来」です。改めて皆様の期待に応える責任を重く受け止めています。

地域の皆様が大切にされている干布小学校。今年度も、138名の子ども一人一人が、心豊かにたくましく伸びていくよう、全職員で精進してまいりますので、ご支援の程どうぞよろしくお願いいたします。

力を出し切った運動会



スローガン『みんなの心を一つにして、完全優勝へとつながろう』のもと、5月21日（土）に運動会を実施しました。

本校の今年度のキーワード「つなぐ、広げる、考える」を運動会でも実現しようと、「みんなで知恵を出して考え、考えたことをみんなに広げ、思いやりの気持ちをもってつながって実行する」という運動会実行委員会の願いが込められたスローガンでした。

今年は、練習の段階から接戦が予想されました。団体競技は、練習のたびに勝敗がかわったり、リレーでも一つのバトンパスで順位が上下するなど、子どもたちは競技に真剣味が増していきました。

また、最高学年である6年生にとっては、リーダーシップを発揮して下の学年の子どもたちをまとめるとてもよい機会となりました。6年生は、「根拠のある作戦を考える」「最後まであきらめない姿を見せる」「6年生だけにしかできない役目を楽しみながらやりとげる」という3つのめあてを立てて、運動会に臨みました。応援団はもちろん、実行委員、応援プロデューサーの3つの役割それぞれで、下学年の子どもたちに手本となる頑張りをみせ、「6年生になったら、〇〇さんのようになりたい」と言う声が聞かれたほどでした。

結果は競技の部、応援の部とも赤組の勝ちでしたが、どの子どもにとっても、勝ち負けよりずっと大切なものを得たようです。お忙しいところ足を運んでいただいた地域のみなさま、本当にありがとうございました。今後とも干布小学校をどうぞよろしく願いいたします。

地区の皆様のご支援、ありがとうございます！

本校の教育環境充実のために、毎年多くのご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

昨年度は、昔寄贈していただいた拡大コピー機が壊れてしまったため、新しい製品を購入させていただきました。教科書の図や各種資料を、教室の黒板にちょうどよい大きさに拡大できるため、普段の授業にも大いに役立っています。

そのほかにも、さまざまな項目について皆様からいただいた会費を使わせていただいております。本当にありがとうございます。



購入した拡大コピー機



拡大コピーした資料を使った授業風景（1年生）